



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社ムロコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 7264 URL http://www.muro.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 室 雅文
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 山口 誉 (TEL) 028-667-7122
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	15,075	4.8	1,819	△1.2	1,915	△4.2	1,385	△7.6
29年3月期第3四半期	14,386	2.8	1,841	44.3	1,998	67.6	1,500	73.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,482百万円(22.5%) 29年3月期第3四半期 1,210百万円(57.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	224.04	—
29年3月期第3四半期	242.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	22,327	15,132	67.8	2,446.16
29年3月期	20,722	13,853	66.9	2,239.46

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 15,132百万円 29年3月期 13,853百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	33.00	33.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	38.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,121	4.6	2,215	△4.2	2,381	△1.8	1,729	△7.2	279.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	6,546,200株	29年3月期	6,546,200株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	359,969株	29年3月期	359,969株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	6,186,231株	29年3月期3Q	6,186,249株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界情勢は、政治的には中東や朝鮮半島情勢等で不安定な状態が続いたものの、経済的には米国をはじめ欧州や中国、インドや東南アジア等、大部分の地域は好調に推移しました。この世界的な好況を受けて資源価格が上昇し、資源国も回復して世界的に「適温経済」と呼ばれる状況を作り出しました。米国では大型減税が決まるなどのプラス要素もあり、暫くはこの適温状態が続くものと思われましたが、足下では好調な米国の雇用指標に端を発する株価の乱高下が起こっており、先行きの不透明感が増しております。

一方国内情勢は、政治的には北朝鮮問題や一向に解決しない森友問題等、相変わらず不安定感がありましたが、経済的には世界的な好況と訪日者数の増加等を受けて内需・外需企業共に業績が上向いており、全体的に好調に推移しました。

当社グループの主要取引先であります自動車業界の当第3四半期連結累計期間の状況は、国内販売台数は軽自動車の回復と新技術の搭載効果等もあり3,656千台（前年同期比4.5%増）と増加、輸出台数は小型車の輸出増等により3,594千台（前年同期比2.0%増）と増加、国内生産台数は軽自動車をはじめ多くの車種で生産が増加したことにより、7,141千台（前年同期比4.8%増）となりました。一方、日系自動車メーカーの1～9月の海外生産台数は14,709千台（前年同期比4.9%増）と増加、これに伴い国内4～12月と海外1～9月を合わせたグローバル生産台数は21,851千台（前年同期比4.9%増）と増加しました。

このような状況の中、当社グループの連結売上高は国内ユニットメーカー向けの売上が伸長したこと等により、15,075百万円（前年同期比4.8%増）と増加しました。営業利益は売上の増加と改善等の効果はあったものの、米子会社の利益減少等により1,819百万円（前年同期比1.2%減）と減少しました。加えて、営業外損益で前期の為替差益から今期は為替差損に転じたこともあり、経常利益は1,915百万円（前年同期比4.2%減）と減少しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期の旧本社売却に伴う特別利益が無くなったこともあり、1,385百万円（前年同期比7.6%減）と減少しました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 車輛関連部品事業

当第3四半期連結累計期間の当事業の売上高は、14,332百万円（前年同期比4.6%増）と増加しました。国内は軽自動車生産が回復し、乗用車も新技術の搭載効果等により引き続き好調に推移したこと、ユニットメーカー向け売上が伸長したこと等により増加しました。海外では、米子会社の売上が客先のモデルチェンジに伴う製品打切り等により減少しました。

② その他

当第3四半期連結累計期間の当事業の売上高は、743百万円（前年同期比7.7%増）と増加しました。海外は欧州が大きく伸び、増加しました。一方国内でもトラックと建築向けが伸び、増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

総資産は、22,327百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,605百万円増加しました。主な増加は受取手形及び売掛金45百万円、電子記録債権290百万円、有価証券501百万円、原材料及び貯蔵品73百万円、有形固定資産466百万円、投資有価証券629百万円であり、主な減少は現金及び預金348百万円、流動資産の繰延税金資産106百万円であります。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ326百万円増加し7,195百万円となりました。主な増加は支払手形及び買掛金21百万円、電子記録債務859百万円、未払金43百万円、流動負債のその他263百万円、固定負債の繰延税金負債65百万円、固定負債のその他37百万円であり、主な減少は1年内返済予定の長期借入金102百万円、未払法人税等340百万円、賞与引当金248百万円、長期借入金241百万円、退職給付に係る負債33百万円であります。

(純資産の部)

純資産は前連結会計年度末に比べ1,278百万円増加し、15,132百万円となりました。主な増加は親会社株主に帰属する四半期純利益1,385百万円、その他有価証券評価差額金の増加128百万円、退職給付に係る調整累計額17百万円であり、主な減少は剰余金の配当金204百万円及び為替換算調整勘定の減少49百万円によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は67.8%（前連結会計年度末は66.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成29年11月9日に「業績予想の修正に関するお知らせ」で発表いたしました業績予想を変更しておりません。なお、予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因の変化によって大きく異なる結果となる可能性があります。今後修正の必要性が生じた場合は、適時かつ適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,099,266	4,751,013
受取手形及び売掛金	2,634,779	2,679,795
電子記録債権	1,469,252	1,760,055
有価証券	224,251	725,682
商品及び製品	542,853	550,594
仕掛品	283,113	304,998
原材料及び貯蔵品	310,914	383,932
繰延税金資産	237,961	131,489
その他	271,957	278,300
流動資産合計	11,074,350	11,565,863
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,674,960	6,510,014
減価償却累計額	△3,641,234	△3,725,677
建物及び構築物（純額）	2,033,726	2,784,337
機械装置及び運搬具	11,451,884	12,100,417
減価償却累計額	△9,256,413	△9,525,169
機械装置及び運搬具（純額）	2,195,471	2,575,248
土地	1,470,462	1,465,304
建設仮勘定	960,213	259,506
その他	4,956,771	5,043,473
減価償却累計額	△4,742,064	△4,787,271
その他（純額）	214,707	256,202
有形固定資産合計	6,874,580	7,340,599
無形固定資産	125,136	108,751
投資その他の資産		
投資有価証券	1,885,522	2,515,176
長期貸付金	10,956	17,455
繰延税金資産	50,196	48,159
その他	705,644	736,042
貸倒引当金	△4,280	△4,300
投資その他の資産合計	2,648,039	3,312,534
固定資産合計	9,647,756	10,761,886
資産合計	20,722,107	22,327,750

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	908,042	929,286
電子記録債務	2,082,873	2,942,314
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	391,527	288,573
未払金	469,312	513,266
未払法人税等	436,284	95,708
賞与引当金	554,043	305,220
役員賞与引当金	16,055	16,503
その他	497,514	760,855
流動負債合計	5,655,653	6,151,729
固定負債		
長期借入金	802,750	561,583
繰延税金負債	92,145	157,879
役員退職慰労引当金	22,538	24,939
退職給付に係る負債	224,849	191,422
その他	70,327	107,680
固定負債合計	1,212,613	1,043,505
負債合計	6,868,266	7,195,234
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,095,260	1,095,260
資本剰余金	904,125	904,125
利益剰余金	11,678,426	12,860,274
自己株式	△182,550	△182,550
株主資本合計	13,495,262	14,677,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	373,154	501,593
為替換算調整勘定	81,382	32,188
退職給付に係る調整累計額	△95,959	△78,375
その他の包括利益累計額合計	358,578	455,405
純資産合計	13,853,840	15,132,515
負債純資産合計	20,722,107	22,327,750

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	14,386,096	15,075,635
売上原価	10,912,580	11,554,053
売上総利益	3,473,516	3,521,582
販売費及び一般管理費	1,631,751	1,702,061
営業利益	1,841,764	1,819,520
営業外収益		
受取利息	10,091	30,545
受取配当金	19,937	21,885
為替差益	95,491	—
その他	54,312	66,985
営業外収益合計	179,832	119,416
営業外費用		
支払利息	15,013	9,433
為替差損	—	5,346
減価償却費	5,949	5,247
その他	1,839	3,444
営業外費用合計	22,802	23,472
経常利益	1,998,795	1,915,464
特別利益		
固定資産売却益	90,974	624
特別利益合計	90,974	624
特別損失		
固定資産除却損	5,188	8,667
特別損失合計	5,188	8,667
税金等調整前四半期純利益	2,084,580	1,907,422
法人税、住民税及び事業税	492,494	412,386
法人税等調整額	91,979	109,042
法人税等合計	584,474	521,429
四半期純利益	1,500,106	1,385,993
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,500,106	1,385,993

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,500,106	1,385,993
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	111,073	128,438
為替換算調整勘定	△420,540	△49,193
退職給付に係る調整額	19,852	17,583
その他の包括利益合計	△289,613	96,827
四半期包括利益	1,210,492	1,482,820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,210,492	1,482,820
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	車両関連部品 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	13,696,226	689,870	14,386,096	—	14,386,096
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,696,226	689,870	14,386,096	—	14,386,096
セグメント利益	2,169,413	112,911	2,282,324	△440,560	1,841,764

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。
2. セグメント利益の調整額△440,560千円には、報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	車両関連部品 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	14,332,614	743,020	15,075,635	—	15,075,635
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,332,614	743,020	15,075,635	—	15,075,635
セグメント利益	2,110,517	150,294	2,260,812	△441,292	1,819,520

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。
2. セグメント利益の調整額△441,292千円には、報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。